



情報通信研究機構 宇宙通信ネットワークグループリーダー  
電子情報通信学会 衛星通信研究専門委員会 委員長

田中正人

**2006** Joint Conference on Satellite Communications (JC-SAT 2006) (2006 韓合同開催衛星通信国際会議)は電子情報通信学会衛星通信研究会と韓国宇宙技術ソサイエティ(Korea Society of Space Technology, KOSST)が合同で開催している衛星通信に関する日韓ワークショップである。開催地は日本と韓国で交互に開催されており、今年は、韓国済州島の西帰浦 KAL ホテルで2日間(10月19日～10月20日)開催された。

今回の JC-SAT の発表件数および参加者数は以下の通り。

○研究発表件数は、30 件で、韓国:15 件、日本:14 件、中国:1 件 であった。

○参加者数は、89 名で、韓国人:64 名程度、日本人 24 名、中国人:1 名 であった。

研究発表に先立ち、2 件のキーノートスピーチがおこなわれた。日本側からは鈴木良昭 NICT 上席研究員が「NICT の宇宙通信 R&D のアクティビティ」と題するスピーチをおこない、韓国側からは KT (Korean Telecom) の Kim 氏が「韓国における衛星プロジェクトの現状と見込み」と題するスピーチをおこなった。



▲ 研究発表風景

韓国からの研究発表で特徴的であったのは、韓国が開発している通信・観測多目的

衛星 (COMS) に関する発表が多数あったことである。日本からは、直接拡散 CDMA 多元接続の改善や衛星 IP や衛星通信用アンテナ等に関する発表があった。

1 日目の夜はレセプションが東シナ海を望む KAL ホテルの庭で行われ、韓国と日本の衛星通信研究者が親交をさらに深めることが出来た。なお、JC-SAT はこれまで日本と韓国だけで論文募集を行ってきたが、次回以降は中国を含む東アジアにも広く論文募集を行っていくことが JC-SAT 日韓委員会で確認された。■